

結核通信

龍野健康福祉事務所 地域保健課 TEL0791-63-5140

令和7年9月発行 (医療機関用)

結核・呼吸器感染症予防週間(9月24日～30日)

日本の状況(令和6年)

- ・ 新結核登録患者数 **10,051** 人/年(罹患率: 8.1/10万人)
- ・ 新結核登録患者の **68%**が**高齢者**(60歳以上)
- ・ 新結核登録患者全体の19.7%が外国生まれの患者。前年から3.7ポイント増加。
20～29歳の年齢層では**9割が外国生まれの患者**
- ・ 新登録結核患者のうち医師は20人↓、看護師保健師は108人↑、他医療従事者は265人↑
- ・ 潜在性結核感染症新登録者数は、医療職(医師、看護師、保健師、他医療職)1,044人↑
- ・ **入国前結核スクリーニング**が開始(令和7年6月～) ※フィリピン・ネパール・ベトナムから順次開始
(厚生労働省ホームページより)



医療機関へのお願い

- 高齢者は自覚症状がなくても年1回胸部レントゲン検査を推奨
- 咳などの症状が続く場合は・・・

- ・ 胸部レントゲン検査＋**喀痰検査**(塗抹・培養・PCR)
- ・ 喀痰検査は*3日間連続(3連痰)*で実施
- ・ 喀痰培養陽性時は薬剤感受性検査を



- 医療機関職員は、必ず年1回レントゲン検査を実施し、

「結核に係る健康診断(事業所)月報様式」にて報告をしてください。

定期結核健康診断については龍野健康福祉事務所ホームページを参照してください。



診断の遅れは感染拡大のリスク

発熱・呼吸器症状が長引く場合は**結核の可能性も視野に**

◆龍野健康福祉事務所管内の状況◆

令和6年情報

新登録結核患者数および潜在性結核感染症新登録者数

14人（**75歳以上**の方は**9名**、**6割以上**が**後期高齢者**です）

<内訳>

肺結核	10人
その他の結核（結核性胸膜炎等）	3人
潜在性結核感染症	1人

※ 肺結核患者のうち **8割** が **喀痰塗抹陽性** で見つかっています

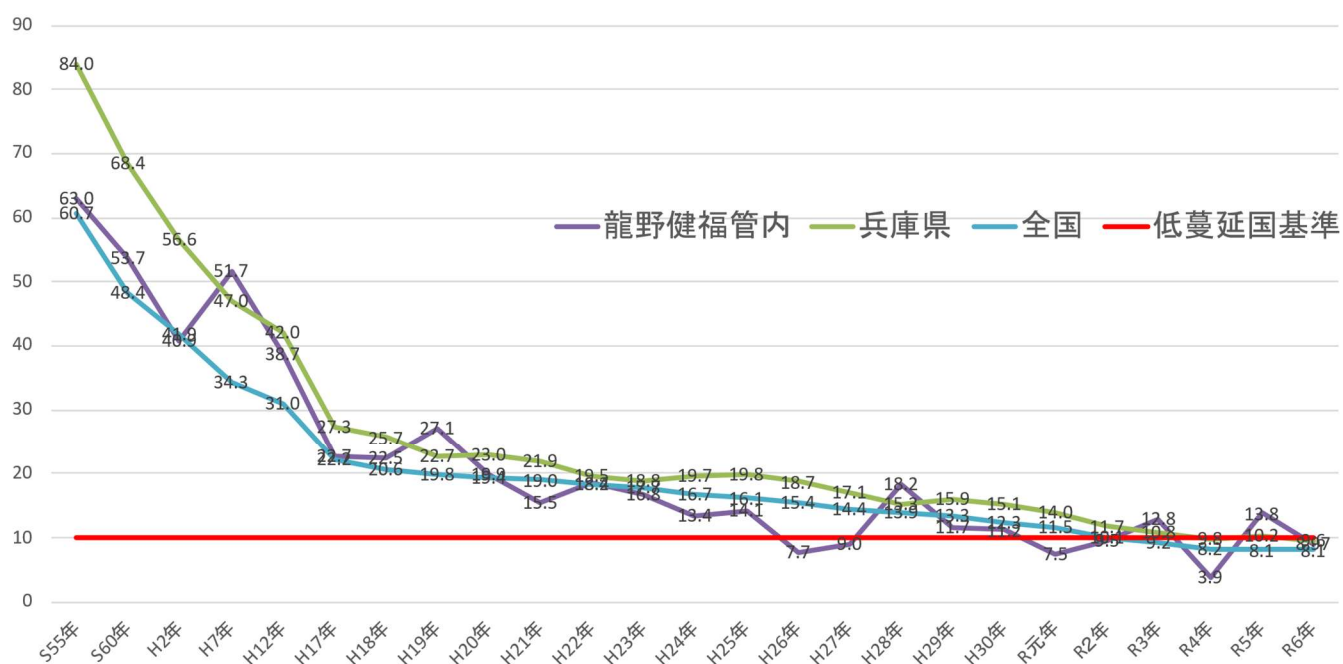
☞ 患者がすでに感染性を持っている可能性が高い状態

<必要な対策>

1. 早期発見の強化 2. 喀痰検査の徹底 3. 診断の遅れを防ぐ体制づくり

- 結核罹患率は年によって若干の増減はありますが、県や国の動向と同じように減少傾向です。
- 令和6年において、新規届出 肺結核患者10名のうち7名は75歳以上の後期高齢者でした。その7名のうち4名は、典型的な咳や喀痰などの呼吸器症状がなく、全身倦怠感や食欲不振の訴えのみでした。
- 健康診断にて胸部レントゲン検査で異常陰影を指摘されていたにもかかわらず、医療機関未受診のまま1年後に全身状態悪化して発見に至ったケースもありました。

結核罹患率の推移（人口10万対）（S55～R6）



※結核低蔓延国の基準（WHO）：人口10万人あたりの新規結核患者数が10人未満